

- 1 (1) れき (2) どろ (3) 工
- ②(2) つぶが小さく、軽いどろが、いちばん流されやすい。
- ③(3) 水中では、つぶの大きい物ほどはやすくしずむ。したがって、れき→砂→どろの順に積もる。
- (4) (角がとれて)まるみを帯びている。
- ④流れる水のはたらきでできた地層のれきは、角がとれてまるみを帯びている。これは、川原の石の形と似ている。
- (5) 川で流されるうちに、ぶつかったりして角がとれたから。
- 2 (1) クレーター (2) ④
- ④(2) 月は太陽の光を反射して光るので、月の光っている側に太陽がある。したがって、地球から見て、月の右側に太陽があるときの月の位置を選べばよい。
- (3) ① イ ② ア
- ④図2のような月(上昇の月)は、だいに光っている部分が大きくなり、約1週間で満月になる。
- 3 (1) だ液 (2) でんぶん
- ④(1) ④は口、①は食道、⑤は肝臓、④は胃、⑤は大腸、④は小腸である。
- (3) 名前：消化管
記号：④, ①, ④, ④, ④
- (4) 記号：④ 名前：小腸
④小腸の内側にはひだがあり、養分を吸収しやすいつくりになっている。
- (5) 記号：④ 名前：肝臓
- (6) 心臓 (7) 腎臓
④(7) 腎臓は、血液からいらなくなつた物をとり除き、よぶんな水分や塩分といつしょにして、ようをつくる。
- 4 (1) ④：作用点 ①：支点 ⑤：力点
(2) ④から遠ざけた。
④支点と作用点のきよりが長くなると、手ごたえが大きくなる。
- (3) ① ア ② イ
④支点と作用点のきよりを短くして、支点と力点のきよりを長くすればよい。

- 1 (1) 肺 (2) 酸素 (3) ア
- ④(2) 肺から血液に酸素がとり入れられ、血液から肺に二酸化炭素が出される。
- ④(3) 吸う空気ははき出した空気に比べて、酸素が多く、二酸化炭素が少ない。
- (4) ちっ素 (5) えら
④(4) 吸う空気とはき出した空気で、ちっ素の量はほとんど変わらない。
- 2 (1) 水にとけたから。
(2) 白くにごる。
④二酸化炭素は石灰水を白くにごらせる。
- (3) 二酸化炭素 (4) ア, イ
④(4) 塩酸には塩化水素、アンモニア水にはアンモニアという気体がとけている。
- 3 (1) 断層 (2) ア (3) ウ
④(2) 土地が左右からおされたり、左右に引っ張られたりすると、断層ができることがある。
- (4) 火山の噴火があった。
- (5) ① れき岩 ② 砂岩 ③ でい岩
- 4 (1) 石灰水
④実験1より、ビーカー④の水溶液はアルカリ性の水溶液であるから、石灰水であることがわかる。実験2より、ビーカー⑤の水溶液は塩酸であることがわかる。よって、ビーカー①の水溶液は炭酸水である。
- (2) 二酸化炭素 (3) ④ (4) ①, ④
④(4) 塩酸と炭酸水は、酸性の水溶液である。
- 5 (1) 葉の中でのんぶんをなくすため。
(2) ① 工
② ④：青むらさき色になる。
④：変化なし。
④④には日光が当たっているので、でんぶんができる。④には日光が当たっていないので、でんぶんはできない。
- 6 (1) 回転しなくなる。(止まる。)
(2) 電気 (3) ウ (4) 蓄電(充電)
④(3) 豆電球や発光ダイオードは電気を光に変えて利用し、電子オルゴールは電気を音に変えて利用している。